

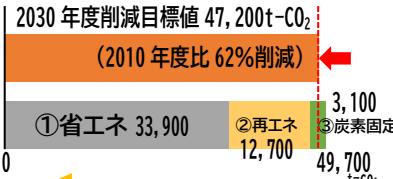
【概要版】

飯山市地球温暖化対策地方公共団体実行計画「区域施策編」

- 飯山市では「第3次飯山市環境基本計画」の中で、2050年までにカーボンニュートラルを達成する目標を掲げています。
- その目標実現に向けて、2030年までに取り組む省エネ・再エネ対策を整理し、脱炭素と地域振興に関する課題の解決を目指しています。

資料2

※ページ番号は計画案本編のページに対応



施策の柱

温室効果ガス 2030 年度削減目標 47,200t-CO₂ に向けて (2010 年度比 62% 削減)

①いいやま断熱大作戦 p39

断熱 + 太陽光発電で少ないエネルギーで快適に暮らす

- 住宅・建築物の断熱性を向上させる p40
 - ▶信州健康ゼロエネ住宅の普及拡大 ▶断熱効果の情報発信
- エネルギーを無駄なく賢く使う p44
 - ▶省エネ、高効率機器の普及、燃転の推進 ▶省エネ促進
- 豪雪地・飯山の太陽光発電モデルを確立させる p48
 - ▶建物への太陽光パネルの普及拡大
 - ▶豪雪地の設置技術の標準化 ▶景観・環境・地域に配慮したオフサイトPPA推進
- 公共施設の脱炭素を進める p56 ▶事務事業編推進(省エネ、灯油消費削減、再エネ拡大)



②夏に活用！雪の冷熱 p61

雪をエネルギー源として見直し夏場の雪氷熱として活用

- 雪国飯山の雪を活用する p61 ▶情報交換、情報発信、実証 ▶冷熱の活用推進

③地域資源の活用と地域経済循環の実現 p64

地域経済の好循環と持続可能な地域づくり

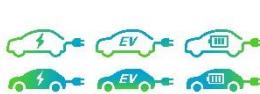
- バイオマスなど廃棄物資源の有効活用を進める p64
 - ▶木質バイオマス(燃料)の市内調達推進 ▶ガス化発電の広域的な検討
 - ▶バイオディーゼル燃料導入調査・活用推進 ▶有機性廃棄物・植物の活用検討
- 再生可能エネルギーの導入を推進する p66
 - ▶熱利用の普及拡大 ▶各分野での再エネ導入推進
- 電力の地産地消体制の構築と経済循環・雇用創出を図る p68
- 生物多様性の保全と脱炭素による地域の活性化 p69
- 二酸化炭素の吸收と炭素固定を進める p71
 - ▶飯山米の生産の維持拡大・農業における炭素固定の推進
 - ▶計画的な植林の実施



④運輸部門への挑戦 p73

自転車と公共交通の利用を促進し電気自動車の普及を図る

- 脱炭素×健康増進 ▶飯山市自転車活用推進計画の推進 p73
- 運輸にかかるエネルギーの消費量の削減を図る p74
 - ▶電気自動車等の普及 ▶エコドライブの推進



戦略の実行による温室効果ガス排出削減

①「省エネ」の推進 p81

省エネによる削減目標量 33,900t-CO₂

○家庭部門

- ▶ヒートポンプ(給湯器を含む)の導入 ▶断熱窓の導入 ▶ペレットストーブの導入
- ▶トップランナーモードの省エネ家電の交換 ▶信州健康ゼロエネ住宅推奨基準以上(等級6相当)の住宅 ▶太陽熱の導入(給湯用) ▶照明のLED化 ▶信州健康ゼロエネ住宅最低基準以上の新築住宅 ▶信州健康ゼロエネ住宅最低基準以上への改修 ▶LPガスの効率化機器の導入 ▶融雪屋根の燃料転換 ▶行動変容による削減
- ▶融雪屋根を活用した太陽熱導入

- 業務その他+産業部門 ▶EMSや省エネ診断などエネルギー管理の実施 ▶省エネ機器の導入 ▶燃料への再エネの補助的導入 ▶照明のLED化 ▶エコアクション21参加によるエネルギー管理の実施 ▶ヒートポンプ(給湯器を含む)の導入 ▶建物窓の断熱化 ▶クールビズ・ウォームビズの実施促進

- 業務その他 ▶木質バイオマスストーブ等の導入 ▶LPガスの効率機器の導入 ▶公共施設の省エネ化による削減

- 産業 ▶受電設備(変圧器)の省エネ更新

- 運輸 ▶乗用(軽)電気自動車の導入

- ▶自動車から自転車や歩行への転換
- ▶エコドライブの実施



②「再エネ」導入の推進 p83

再生可能エネルギー導入による削減目標量 12,700t-CO₂

- 太陽光発電 ▶既存住宅 ▶新築住宅 ▶事業者 ▶宿泊施設 ▶公共施設
- ▶野立て(民間、オノ・オフサイトPPAなど) ▶工業団地工場・大店舗

- 小水力発電 ▶民間(FIT)・公共施設(自家消費)

- 木質バイオマス発電 ○地中熱利用 ○太陽熱利用

- 生ごみ・下水汚泥等のバイオマス発電

- 風力発電 ○雪氷冷熱 ○運輸・交通(自動車電動化)

- ペレットストーブ・ペレットボイラ



③炭素固定の推進 p84

農業や植林による削減目標量 3,100t-CO₂